

非売品

ご自由にお持ちください

パソコンの 安全対策 CD-ROM

Windows XP
Service Pack 2

セキュリティ強化機能搭載

●用語の使い方

本文中では、「Microsoft® Windows® XP」のことを「Windows XP」または「Windows」、「Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」のことを「Windows XP Service Pack 2」または「Service Pack 2」と記述しています。また、本文中で使用している用語は、基本的に実際の画面に表示される名称に則っています。

●本小冊子の前提

各レッスンは、Windows XP Home Editionがインストールされているパソコンを前提として画面を再現しています。Windows XP Professionalをご利用の場合、一部画面が異なることがありますが、基本的に同じ要領で手順を進められます。

●本小冊子に掲載されている情報について

本書に掲載されている情報は、2004年8月現在のものです。本書の発行後にホームページの内容などの情報が変更されることもあります。

Microsoft、Windows、Windowsロゴは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他、本文中の会社名、製品名およびサービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の商標または登録商標です。なお、本文中には™および®マークは明記していません。

Copyright © 2004 Masashi Shimizu and Impress Corporation All rights reserved.

本小冊子の内容はすべて、著作権法によって保護されます。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

Microsoft

マイクロソフト株式会社
〒151-8790 東京都渋谷区代々木2-2-1 小田急サザンタワー



●必要システム

- ・プロセッサ（CPU）：クロック速度233Mhz以上
※Intel Pentium/Celeronファミリー、AMD K6/Athlon/Duronファミリー、またはこれらと互換のプロセッサを推奨
- ・メモリ：64MB以上
- ・ハードディスク：1.6GB以上の空き容量
- ・ディスク装置：CD-ROMドライブを搭載
- ・OS：日本語版Windows XPがインストール済みのコンピュータ
※本CD-ROMのみでWindows XPを再インストールすることはできません。Windows XPやリカバリCDなどのCD-ROMは本CD-ROMと一緒に大切に保管してください

●この小冊子の読み方

レッスン

見開き2ページを基本に、**●やりたいことが見つけやすいタイトル**「〇〇をするには」や「〇〇ってなに？」など、「やりたいこと」や「やりたいこと」がすぐに見つけられるタイトルがついています。

●機能名で引けるサブタイトル「あの機能を使うにはどうするんだっけ？」そんな時に便利。機能名やサービス名などで調べやすくなっています。

本文

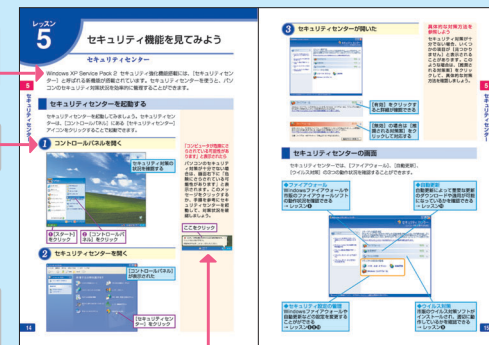
操作の要点をていねいに解説。操作を始める前に読んでおくことで、より深くレッスンの内容を理解できます。

手順

必要な手順を、すべての操作を掲載して解説しています。

HINT!

レッスンに関連した、さまざまな機能を紹介したり、一歩進んだ使いこなしのテクニックまで解説します。



- 1 インターネットの危険ってなに？
＜パソコンとインターネット＞ 2
- 2 被害を受けるとどうなるの？ ＜ウイルスの被害＞ 4
- 3 Windows XPでパソコンのセキュリティを強化しよう
＜Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載＞ 6
- 4 Windows XP Service Pack 2
セキュリティ強化機能搭載を使うには ＜インストール＞ 10
- 5 セキュリティ機能を見てみよう ＜セキュリティセンター＞ 14
- 6 安全にインターネットに接続するには
＜Windowsファイアウォール＞ 16
- 7 安全なホームページだけを見られるようにするには
＜Internet Explorerのセキュリティ＞ 20
- 8 危険なHTMLメールや添付ファイルを開かない
ようにするには ＜Outlook Expressのセキュリティ＞ 22
- 9 ウイルス対策をするには ＜ウイルス対策＞ 24
- 10 自動更新の設定をするには ＜自動更新＞ 26
- 11 Windows XPで困ったときは ＜Q&A＞ 28

巻末 アンケートご協力をお願い.... 31

このCD-ROMに関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

セキュリティ情報センター

(0120) 69-0196

※電話番号のおかけ間違いにはご注意ください

受付時間 9:30～12:00、13:00～19:00（土・日・祝祭日、指定休業日を除く）

Microsoft

マイクロソフト株式会社
〒151-8790 東京都渋谷区代々木2-2-1 小田急サザンタワー

インターネットの危険ってなに？

パソコンとインターネット

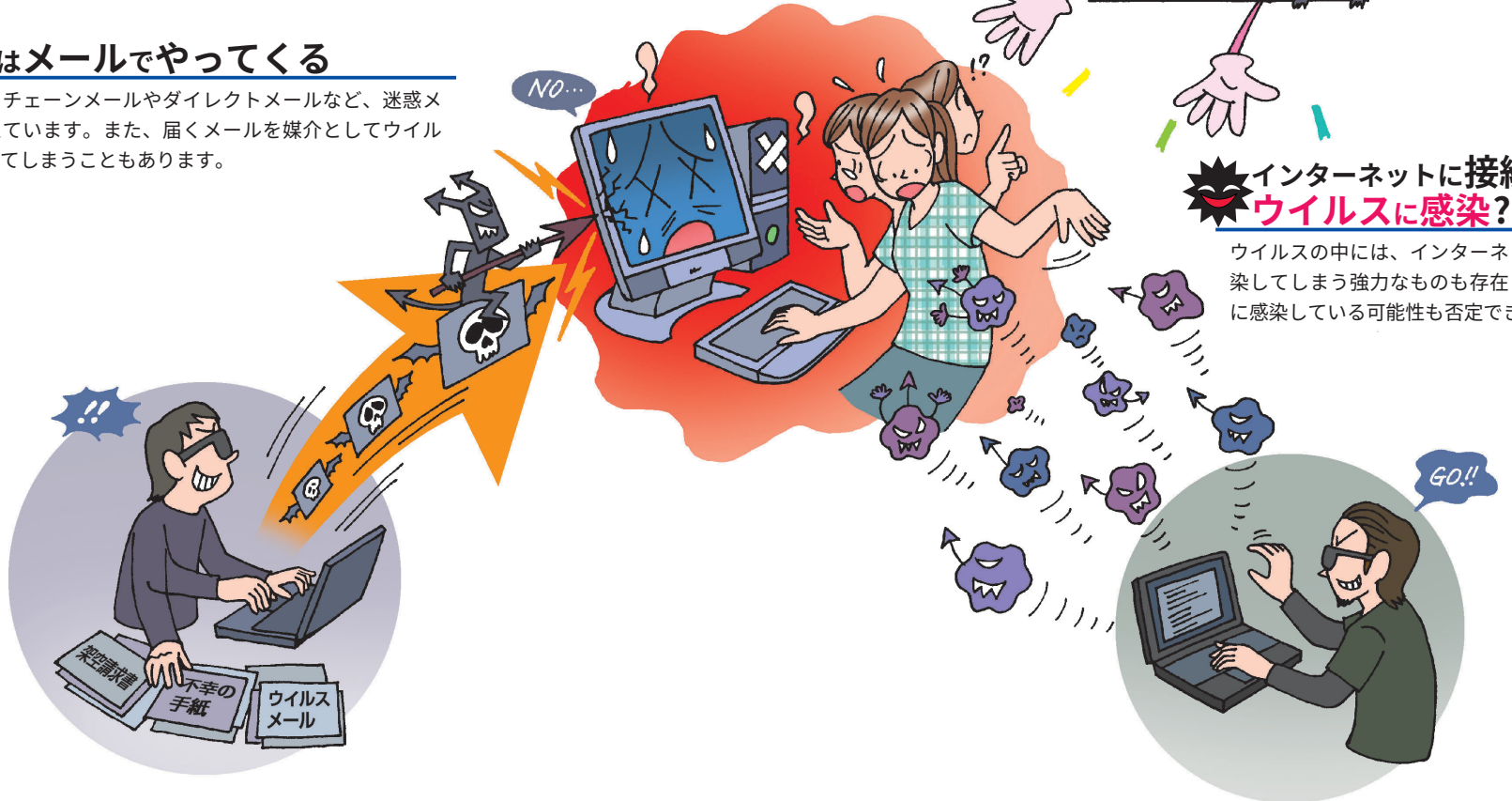
メールのやり取りやホームページの閲覧など、普段、何気なく利用しているインターネットですが、実は、そこにはさまざまな「危険」が潜んでいます。まずは、インターネットにどのような「危険」が存在するのかを確認しておきましょう。

インターネットにはさまざまな危険がある

インターネットには、パソコンに何らかの不具合を発生させる「ウイルス」（悪意を持って作られたプログラム）やパソコンに不正に接続して情報を盗んだりする「不正アクセス」などの危険があります。何も対策しないのは、まるで家の戸締まりをせずに出かけるようなもので、いつ被害に遭ってもおかしくありません。

危険はメールでやってくる

最近では、チェーンメールやダイレクトメールなど、迷惑メールが増えています。また、届くメールを媒介としてウイルスに感染してしまうこともあります。



ホームページに落とし穴?!

一見、普通に見えても、パソコンの動作を不安定にするプログラムが仕掛けられているなど、悪意を持って作成されたホームページもあります。



インターネットに接続しただけでウイルスに感染?!

ウイルスの中には、インターネットに接続しているだけで感染してしまう強力なものも存在します。知らず知らずのうちに感染している可能性も否定できません。

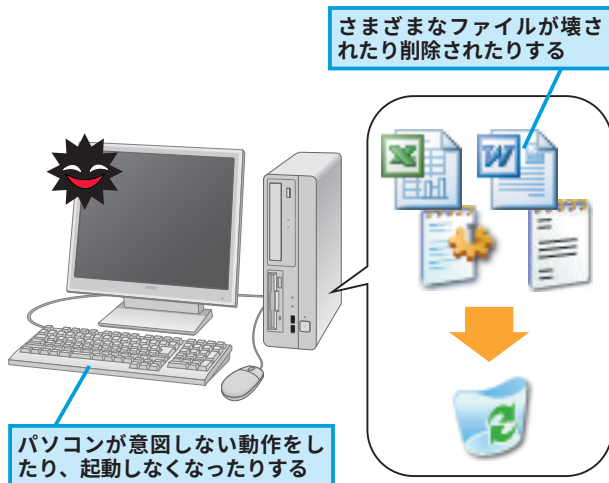
被害を受けるとどうなるの？

ウイルスの被害

ウイルスに感染したり、不正アクセスに遭うと、どのような被害を受けるのでしょうか？ パソコンに不具合が起きたり、情報が盗まれるなどの被害を受けるだけでなく、ほかの人に被害を広げ、結果的に加害者になってしまう場合もあります。

パソコンに不具合が起きてしまう

画面にたくさんのウィンドウが開き続けて操作できなくなったり、パソコンの動作に必要なファイルが壊されてしまうなど、パソコンに重大な不具合が発生する可能性があります。



不具合を直すには

パソコンを再起動することで直る場合もありますが、場合によってはウイルス対策ソフトなどを使ってウイルスを除去しなければならないこともあります。また、最悪の場合、パソコンを買ってきたときの状態に戻さなければならないこともあります。

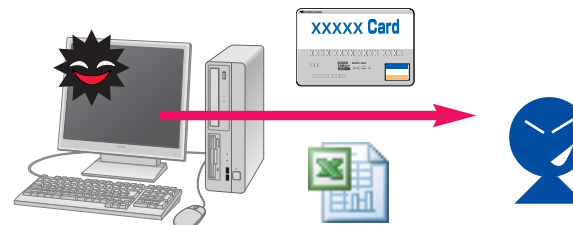
●実際にはどんな不具合が起きる？

- ・パソコンが起動しない
 - ・再起動をくり返す
 - ・動作が異常に遅くなる
 - ・ファイルが開けない
- など……

大切な情報が盗まれてしまう

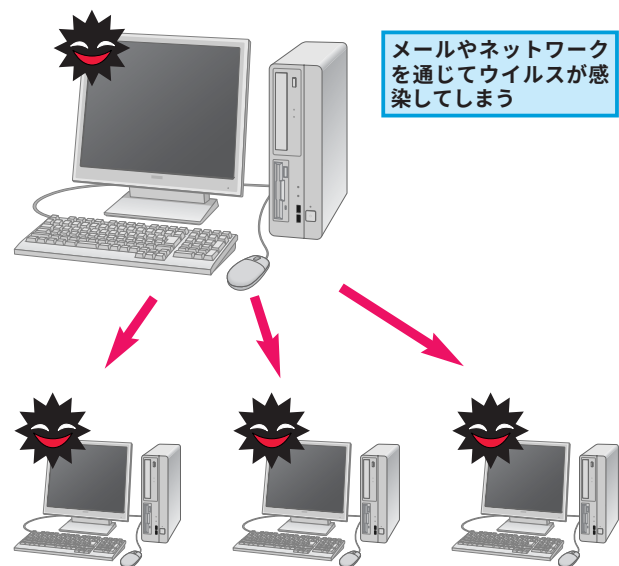
パソコンに保存されている文書やメールなどの情報を見られてしまったり、IDやパスワード、クレジットカード番号などの情報を盗まれて、それを勝手に使われてしまう可能性があります。

悪意のある第三者によって、クレジットカードの情報が重要な文書が盗まれる



周りの人へ被害を広げてしまう

登録されているメールアドレスに勝手にウイルスを送ったり、知らず知らずのうちにほかの人のパソコンを攻撃する手伝いをさせられるなど、自分が加害者になってしまう可能性があります。



ブロードバンド環境では特に注意が必要

光ファイバーやADSLなどのブロードバンド環境では、パソコンとインターネットが常に接続された状態になっています。このような環境では、外部からの攻撃やウイルスに感染する機会が多くなりますので、特に注意が必要です。

Windows XPでパソコンの セキュリティを強化しよう

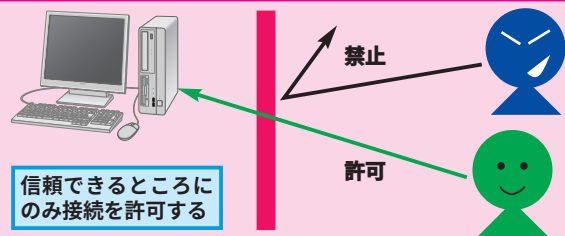
Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載

インターネット上の危険から身を守るには、ウイルスの感染や不正アクセスを防ぐための対策が必要です。さまざまな対策を統合的に行なうことができる「Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」を導入しましょう。

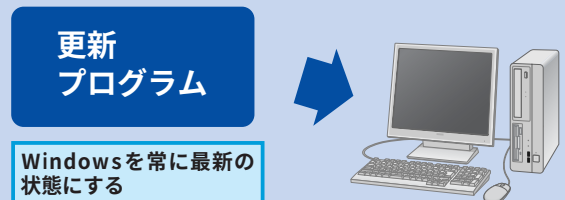
どうすれば危険を防止できる？

危険から身を守るには、パソコンを常に最新の状態にしたり、ウイルス対策ソフトでパソコンを防御します。また、信頼できないホームページやメールを見ないなどの工夫も必要です。

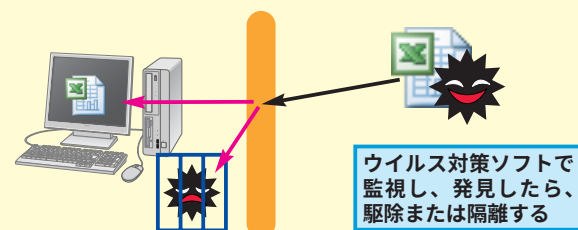
●ウイルスや不正アクセスを寄せ付けない



●Windowsを常に最新にする



●ウイルス対策ソフトでウイルスを防ぐ



OSを入れ替える必要があるの？

Windows XP Service Pack 2は、既存のWindows XPのアップデートプログラムとして提供されています。このため、今使っているパソコンにインストールするだけで手軽に利用できます。

Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載ってなに？

各対策を個別にするのは大変です。そこで利用したいのが「Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」です。さまざまな対策を自動的に行なえ、パソコンの状態を統合的に監視できます。



OSってなに？

OSとは、文字入力や画面表示、ファイルの操作など、パソコンの基本的な動作を実現するソフトウェアのことです。WindowsもOSのひとつとなります。

ファイアウォールってなに？

ファイアウォールとは、インターネットからの不正アクセスを遮断するための機能です。パソコンとインターネットの間でやり取りされる通信を監視し、不正なアクセスを遮断することができます。

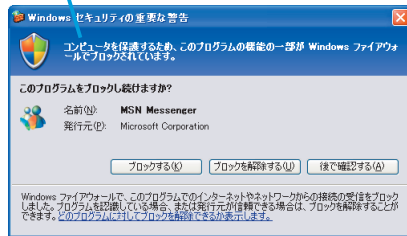
インターネットからの攻撃を防げる

Windows XP Service Pack 2のファイアウォール機能を使うと、インターネットとの接続が監視されるようになり、外部からの不正アクセスを遮断することができます。

◆Windows ファイアウォール

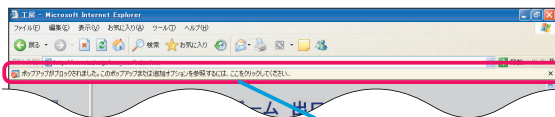


ファイアウォールによって 接続をブロックする

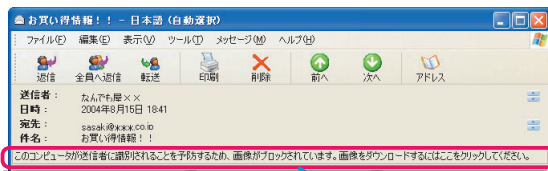


◆Internet Explorerや Outlook Expressのセキュリティ

個人情報盗まれ、不正なプログラムが含まれる可能性があるホームページやメールの表示をブロックできます。うっかり危険なホームページやメールを見ても防止できます。



広告や危険なプログラムなどが 勝手に実行されるのをブロック



画像や添付ファイルがダウン ロードされるのをブロック

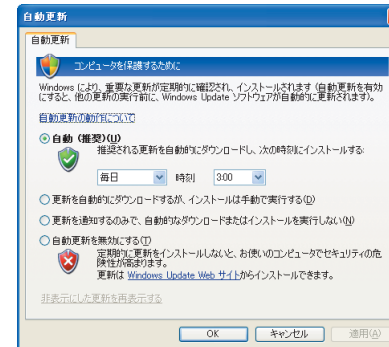
接続の許可も手軽に できる

Windows XP Service Pack 2のファイアウォール機能では、外部との接続を行なうアプリケーションを起動したときに、接続を許可するか、遮断するかを選択できます。このため、すべての接続が遮断されるわけではなく、信頼できるアプリケーションの接続を許可することも簡単にできます。

パソコンを最新の状態に保てる

優先度の高い更新を自動的にダウンロードして、あらかじめ指定されたタイミングで自動的に適用できます。OSを常に最新の状態で使えるため、OSの特定の機能を突くような攻撃にも対抗できます。

◆自動更新

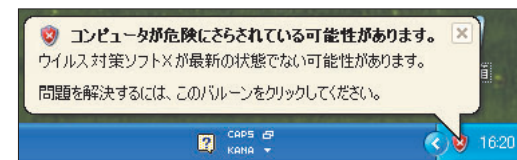


決まった時間にパソコンが 最新の状態に更新される

ウイルス対策が正しく行なわれていることを監視できる

パソコンにウイルス対策ソフトがインストールされ、正しく動作しているかを監視することができます。対策ができていない場合は、メッセージが表示され、具体的な対策方法を確認できます。

◆ウイルス対策



ウイルス対策の状況を 監視してくれる

どうして最新の状態に 保つ必要があるの？

最新のウイルスや不正アクセスに対抗するためには、これらに対抗するための更新プログラムをOSに適用する必要があります。このため、自動更新を利用して、OSを常に最新の状態にしておく必要があります。

ウイルス対策ソフト を用意しておこう

Windows XP Service Pack 2には、ウイルス対策ソフトは搭載されていません。市販のウイルス対策ソフトを購入するか、パソコンにあらかじめインストールされているウイルス対策ソフトを利用しましょう。

Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載を使うには

インストール

Windows XP Service Pack 2は、パソコンにインストールするだけで手軽に利用することができます。付属のCD-ROMを使って、実際にインストールしてみましょう。

Service Pack 2をインストールする

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、「Windows XP Service Pack 2 セットアップウィザード」が開始されます。画面のメッセージに従ってインストールしていきましょう。

1 CD-ROMを用意する

Service Pack 2のインストールを始める

この小冊子に付属のCD-ROMを用意する

◆Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載のCD-ROM



Service Pack 2は下記のサイトからダウンロードすることもできる

その他、互換性などインストールについての情報が掲載されているので確認しておく

◆Windows XP Service Pack 2

<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/sp2/>

◆Windows XP Service Pack 2の互換性情報

<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/compatible/sp2/>

2 CD-ROMをパソコンにセットする



パソコンの電源を入れておく

CD/DVDドライブにService Pack 2のCD-ROMをセット

自分のパソコンで問題なくインストールできる？

Windows XP Service Pack 2をインストールするには、パソコンが以下のシステム要件を満たしている必要があります。また、すでにパソコンにWindows XPがインストールされている必要があります。

ハードディスク：
1.6GB以上の空き容量

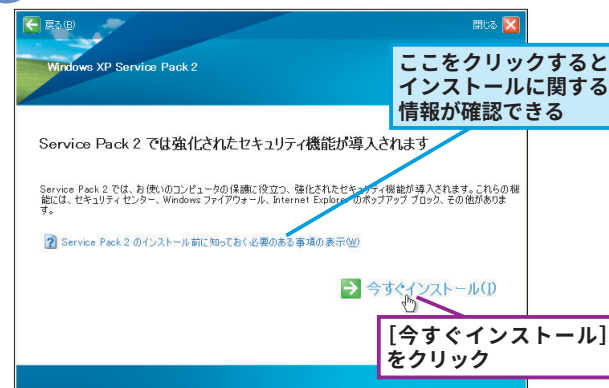
ダウンロードしたService Pack 2をインストールするには

マイクロソフトのサイトからService Pack 2をダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルを使ってインストールを開始します。ファイルをダブルクリックすると、手順5と同じ画面が表示されますので、手順5以降を参考にインストールしましょう。

3 インストールのウィンドウが表示された

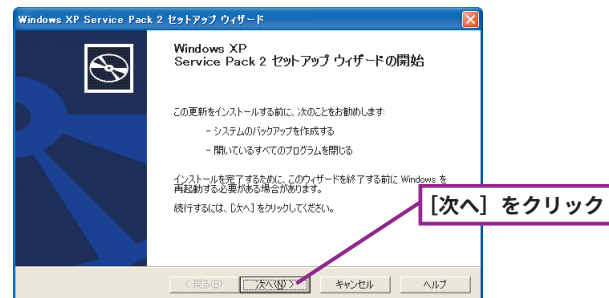


4 インストールを開始する



5 セットアップウィザード開始する

[Windows XP Service Pack 2 セットアップウィザード] が表示された



次のページに続く

データやアプリケーションはそのまま使える

Windows XP Service Pack 2をインストールしても、パソコンに保存されているデータや、すでにインストールされているアプリケーションはそのまま利用できます。データやアプリケーションが消えてしまうわけではありませんので安心してください。ただし、大切なデータがある場合は、念のためバックアップを取ってから作業を行うことをお勧めします。

インストール画面が表示されないときは

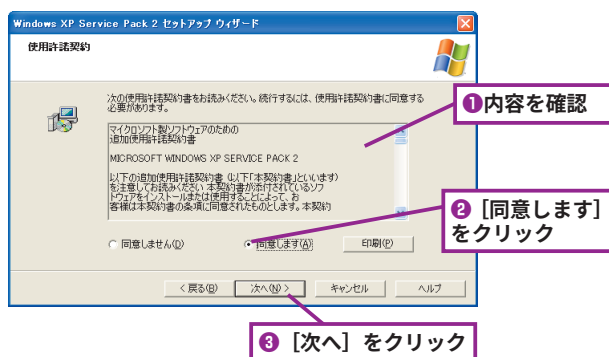
CD-ROMをセットしてもインストール画面が表示されないときは、[マイ コンピュータ] からCD-ROMドライブのアイコンを開き、[AUTORUN] をダブルクリックして起動します。



[AUTORUN] をダブルクリック

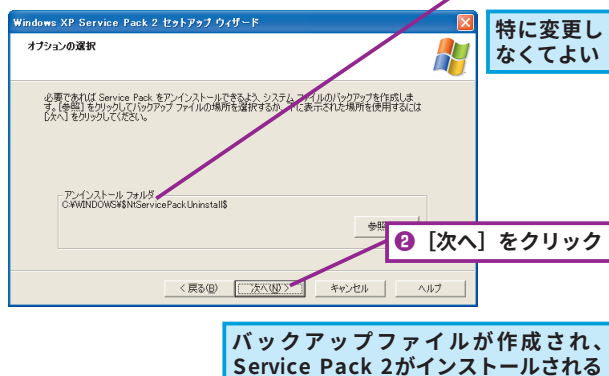
6 使用許諾契約を確認する

使用許諾契約が表示された

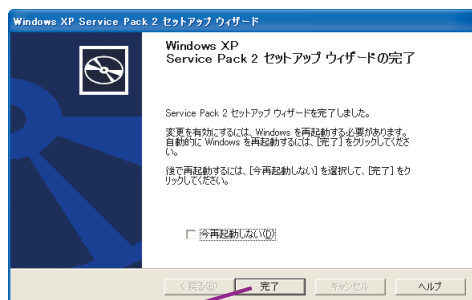


7 バックアップ先を確認する

Service Pack 2を削除する場合に必要なファイルがバックアップされる



8 インストールが完了した



Service Pack 2を削除するには

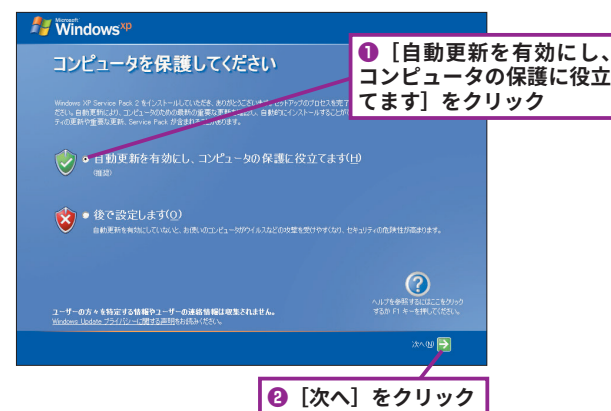
Windows XP Service Pack 2を削除したいときは、[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]をクリックして開き、[Windows XP Service Pack 2]を選んでから、[削除]をクリックします。

自動更新の設定をする

インストールが完了したら、続けて、Windows XP Service Pack 2の設定をします。まず最初は、[自動更新]を有効にして、常に最新の状態にできるようにしましょう。

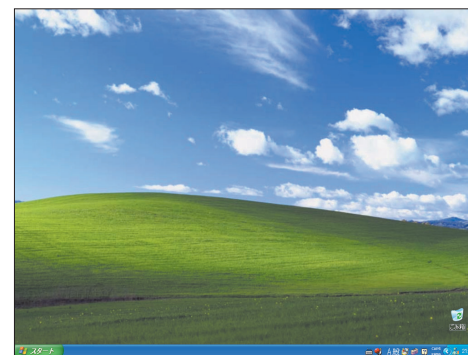
9 自動更新を有効にする

パソコンが再起動すると、「コンピュータを保護してください」というメッセージが表示される



10 デスクトップが表示された

Windowsが起動し、Service Pack 2のセキュリティ強化機能が使えるようになった



起動直後からパソコンを保護している

Windows XP Service Pack 2のセキュリティ機能は、Windowsが起動した直後から有効になっています。このため、起動から終了まで、常にパソコンを保護することができます。

「優先度の高い更新」が自動的に適用されるようになる

自動更新を有効にすると、ダウンロードした優先度の高い更新がパソコンに自動的に適用されるようになります。標準では、毎日午前3時(パソコンが起動している場合のみ)に適用されます。また、Windowsをシャットダウンするときにも自動的に優先度の高い更新が適用されます。自動更新について詳しくは、レッスン10を参照してください。

セキュリティ機能を見てみよう

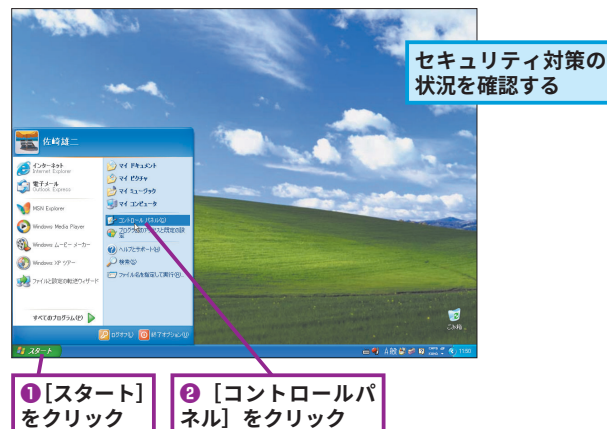
セキュリティセンター

Windows XP Service Pack 2には、「セキュリティセンター」と呼ばれる新機能が搭載されています。セキュリティセンターを使うと、パソコンのセキュリティ対策状況を効率的に管理することができます。

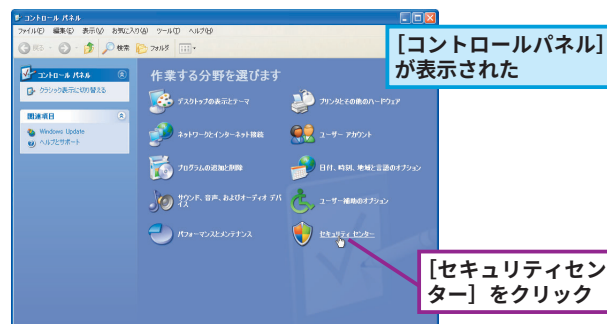
セキュリティセンターを起動する

セキュリティセンターを起動してみましょう。セキュリティセンターは、「コントロールパネル」にある「セキュリティセンター」アイコンをクリックすることで起動できます。

1 コントロールパネルを開く



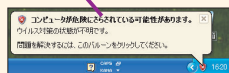
2 セキュリティセンターを開く



「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」と表示されたら

パソコンのセキュリティ対策が十分でない場合は、画面右下に「危険にさらされている可能性があります」と表示されます。このメッセージをクリックするか、手順を参考にセキュリティセンターを起動して、対策状況を確認しましょう。

ここをクリック



3 セキュリティセンターが開いた



[有効] をクリックすると詳細が確認できる

[無効] の場合は「推奨される対策案」をクリックして対応する

セキュリティセンターの画面

セキュリティセンターでは、「ファイアウォール」、「自動更新」、「ウイルス対策」の3つの動作状況を確認することができます。

◆ファイアウォール

Windowsファイアウォールや市販のファイアウォールソフトの動作状況を確認できる
→ レッスン⑥

◆自動更新

優先度の高い更新プログラムのダウンロードや適用が可能になっているかを確認できる
→ レッスン⑩



◆セキュリティ設定の管理

Windowsファイアウォールや自動更新などの設定を変更することができる
→ レッスン⑥⑩

注意 会社などのネットワークに接続している場合、ここで表示される画面が異なることがあります

◆ウイルス対策

市販のウイルス対策ソフトがインストールされ、適切に動作しているかを確認できる
→ レッスン⑨

具体的な対策方法を参照しよう

セキュリティ対策が十分でない場合、いくつかの項目が「見つかりません」と表示されることがあります。このような場合は、「推奨される対策案」をクリックして、具体的な対策方法を確認しましょう。

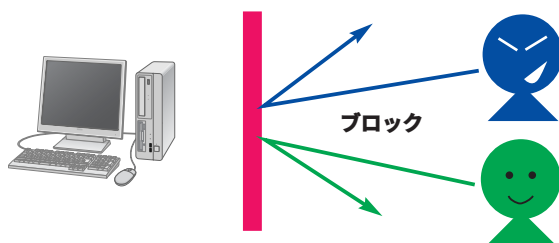
安全にインターネットに 接続するには

Windowsファイアウォール

Windows XP Service Pack 2の機能を実際に使ってみましょう。まずは、インターネットからの不正なアクセスを遮断することができる [Windowsファイアウォール] の動作や設定について見てみましょう。

Windowsファイアウォールってなに？

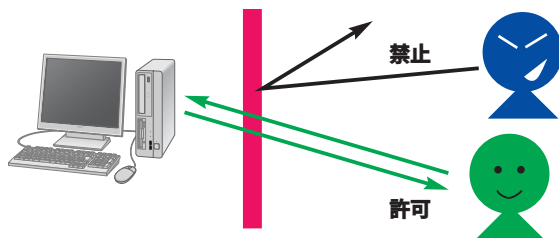
Windowsファイアウォールは、パソコンの通信状況を監視することで、外部からの不正アクセスを遮断できるファイアウォール機能です。基本的に外部からの通信をすべて遮断し、許可されたアプリケーションの通信だけを通過させることができます。



ファイアウォールが有効になると、インターネットとパソコンとの間の情報のやり取りがブロックされる

信頼できるもののみ接続を許可する

許可しない接続はブロックされる



市販のソフトで対策している場合は

セキュリティ対策ソフトなど、市販のファイアウォールソフトを利用している場合は、このレッスンの手順は必要ありません。Windowsファイアウォールではなく、市販のファイアウォールソフトの機能をオンにし、外部からの不正アクセスを遮断できるように設定しておきましょう。

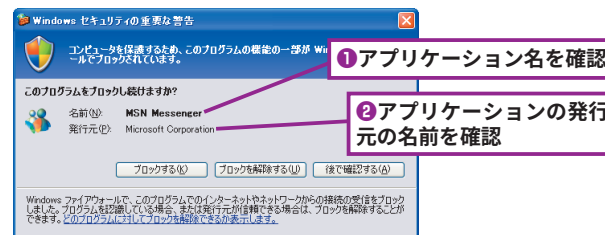
ブロックされたアプリケーションを使えるようにするには

Windowsファイアウォールはパソコンが起動した直後から有効になっています。このため、インターネットと接続するアプリケーションを起動したときは、その接続を許可する必要があります。

1 アプリケーションがブロックされた

インターネットに接続するアプリケーションではメッセージが表示される

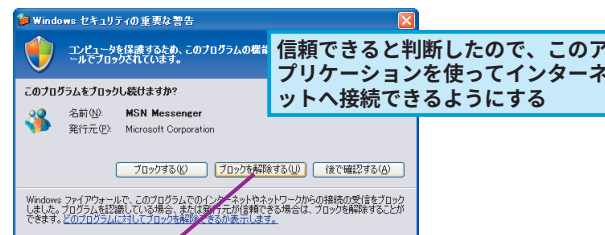
信頼できるアプリケーションかどうかを確認する



① アプリケーション名を確認

② アプリケーションの発行元の名前を確認

2 ブロックを解除する



信頼できると判断したので、このアプリケーションを使ってインターネットへ接続できるようにする

[ブロックを解除する] をクリック

アプリケーションが起動し、インターネットへの接続ができるようになった

起動時に表示されるとは限らない

アプリケーションによっては、起動時ではなく、特定の機能（通信機能）を使ったときに、メッセージが表示されることがあります。メッセージが表示された時点で、接続を許可するかどうかを設定しましょう。

一度許可すれば次からはブロックされない

ブロックを解除したアプリケーションは、その状態がWindowsファイアウォールに登録されるため、次回以降はメッセージが表示されず、そのまま利用することができます。毎回、接続を許可しなければならないわけではありませんので安心してください。

信頼できないソフト名の場合には解除しない

ブロックされたアプリケーションの発行元が信頼できないものであった場合は、ウイルスなどである可能性もあるため、安易にブロックを解除しないようにしましょう。

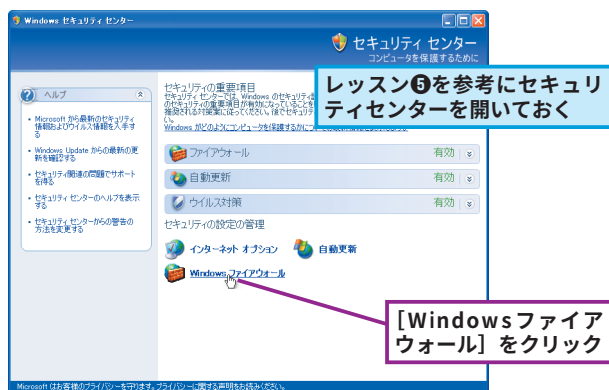
次のページに続く

接続できるアプリケーションを変更するには

Windows ファイアウォールでは、接続の可否をアプリケーションごとに設定できます。[例外] で設定を変更してみましょう。

3 Windows ファイアウォールを開く

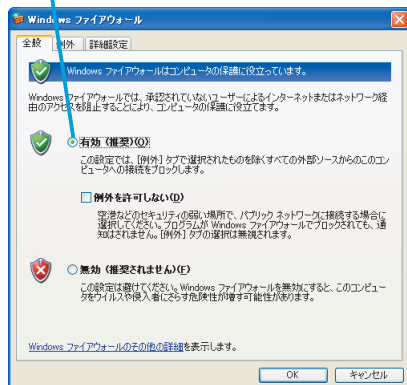
ファイアウォールでブロックするアプリケーションを変更する



4 Windows ファイアウォールが開いた

[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスが表示された

[有効] が選択されていることを確認する



[状態を確認してください]と表示された場合は

セキュリティセンターに対応していないファイアウォールソフトを利用している場合、[状態を確認してください]と表示されることがあります。そのまま、市販のファイアウォールで対策する場合は、[推奨される対策案]をクリックして、[自分でファイアウォール対策を行い、管理します]にチェックを付けましょう。ただし、この場合、セキュリティセンターではファイアウォールの状態を監視できません。市販のファイアウォールで確実に外部からの不正アクセスを遮断できるように自分で管理しましょう。市販のセキュリティ対策ソフトの対応状況は、P.10のレッスン④ 手順1「Windows XP Service Pack 2の互換性情報」のサイトを確認してください。

[有効] と表示されていることを確認しよう

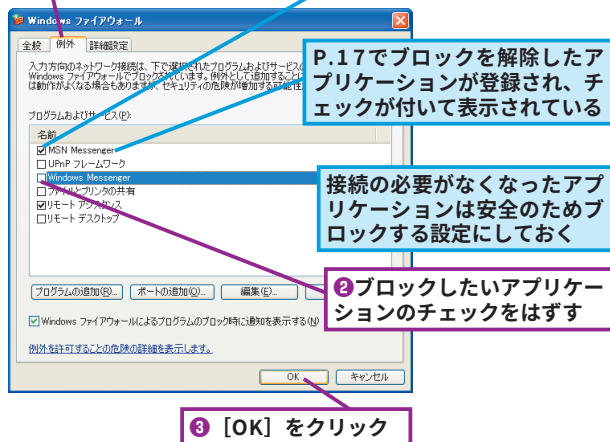
Windows ファイアウォールの動作状態は、セキュリティセンターで確認できます。きちんと動作している場合は[有効]と表示されます。もしも、[無効]になっている場合は、[推奨される対策案]をクリックし、[今すぐ有効にする]をクリックしましょう。

5 [例外] の設定をする

ファイアウォールでブロックするアプリケーションのチェックをはずす

① [例外] をクリック

チェックの付いているアプリケーションが接続を許可されている



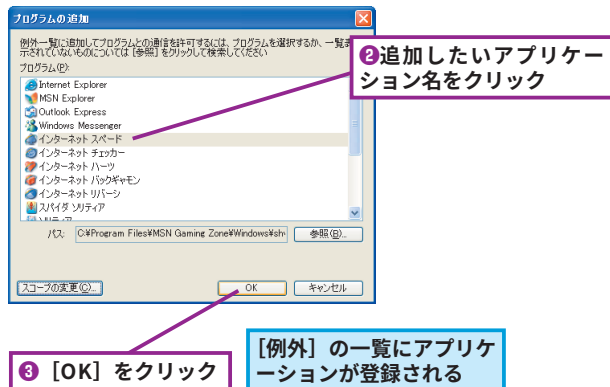
接続を許可するアプリケーションは個別に追加できる

接続を許可したいアプリケーションが [例外] にはないときは、新たに追加します。よく使うアプリケーションを登録しておきましょう。

6 [例外] のプログラムを追加する

① 手順5の画面で [プログラムの追加] をクリック

[プログラムの追加] ダイアログボックスが表示された



[例外] ってなに？

[例外] とは、外部との接続を許可するアプリケーションのことです。Windows ファイアウォールでは、基本的に外部からの接続をすべて遮断します。そのままでは、インターネットとの接続が必要なアプリケーションを利用することができませんので、接続を許可するアプリケーションを [例外] として登録することになります。

[ポート] を指定して追加することもできる

手順5の画面で[ポートの追加]をクリックすると、アプリケーション名ではなくポート番号を指定して [例外] を設定できます。ポートとは、アプリケーションが通信を行なうときに利用する識別番号のようなものです。ネットワークゲームなどで、外部と通信するためのポートが指定されている場合は、そのポートを指定してブロックを解除しましょう。

安全なホームページだけを見られるようにするには

Internet Explorerのセキュリティ

Windows XP Service Pack 2には、より安全にホームページを見るための機能もあります。強化されたInternet Explorerで、情報を盗んだり、パソコンに不具合を発生させる危険なホームページから身を守りましょう。

Internet Explorerを使うときに気をつけること

危険なホームページをうっかり閲覧してしまうと、自動的に不正なプログラムが実行されたり、パソコンの動作がおかしくなったり、個人情報盗まされてしまうなどの危険性があります。しかし、Internet Explorerのセキュリティ機能を使えば、このような攻撃を自動的にブロックできます。

目に見えない被害にも注意

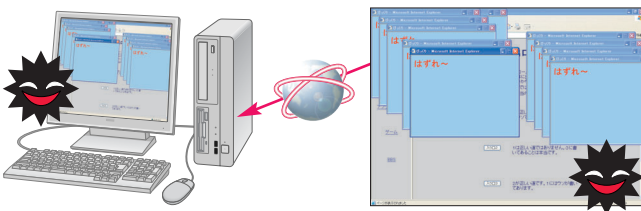
ホームページによっては、そのページを表示している間、外部から攻撃するための通信経路を開くという悪質なものもあります。新しいInternet Explorerでは、このような目に見えない攻撃にも対応し、安全にホームページを見られます。

ポップアップってなに？

ホームページによっては、ページを開くと、自動的に別のウィンドウを開き、そこに情報を表示されることがあります。このように自動的に表示される別ウィンドウのことをポップアップと呼びます。

Active Xってなに？

「Active X」とは、Internet Explorerで利用されるプログラム的一种です。インターネット上からプログラムをダウンロードすることで、音声や映像を再生したり、特定の接続を行ったり、さまざまな機能を利用することができます。



ホームページを閲覧すると自動的にポップアップ広告が表示されたり、プログラムが実行されるなど、パソコンが意図しない動きをすることもある

●Service Pack 2ではプログラムの実行をブロックできる

ポップアップの表示やActive Xプログラムのインストールなどの場合に確認のメッセージが表示される

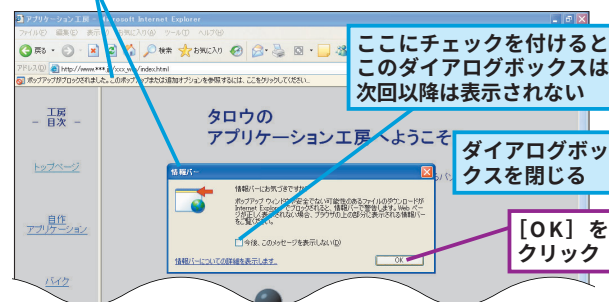


ブロックされた情報を読み込むには

Internet Explorerのポップアップブロックを利用すると、信頼できるホームページの情報までもブロックされてしまうことがあります。このような場合は、ブロックを解除しましょう。

1 インターネットからの情報がブロックされた

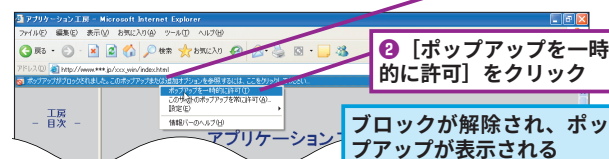
情報バーと、情報バーについて説明したダイアログボックスが表示された



2 ブロックを解除する

ブロックされた情報を読み込む

①情報バーをクリック

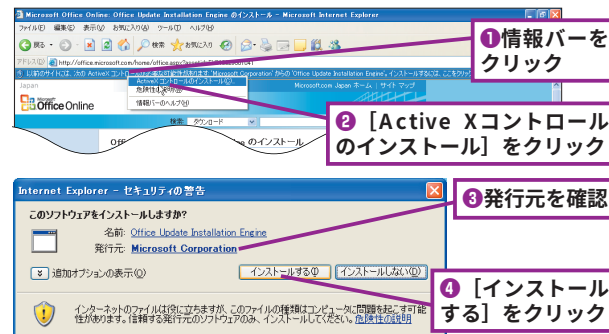


② [ポップアップを一時的に許可] をクリック

ブロックが解除され、ポップアップが表示される

ブロックされたソフトのインストールを許可するには

ホームページによっては、ページの表示に「Active Xコントロール」と呼ばれるソフトウェアのインストールが必要な場合があります。Active Xコントロールがブロックされたときも、同様にブロックを解除して、インストールを許可しましょう。



広告もブロックできる

Windows XP Service Pack 2のInternet Explorerでは、ホームページを開いたときに、別ウィンドウで表示される広告などもブロックできます。これにより、たくさんの広告が表示されるホームページも見やすくなります。

ブロックを解除していいのは信頼できるサイトのみ

ブロックを解除すると、そのホームページの情報をすべて受け入れることになります。必ず、そのホームページが信頼できるものかを確認してから解除するようにしましょう。

発行元やサイトを確認しよう

Active Xコントロールは不用意にインストールしないように注意しましょう。悪意を持って作成されたActive Xコントロールをインストールすると、パソコンに不具合が発生してしまう可能性があります。インストール時に表示される発行元やサイト自体を確認して、信頼できるものであることを確認してからインストールしましょう。

危険なHTMLメールや添付ファイルを 開かないようにするには

Outlook Expressのセキュリティ

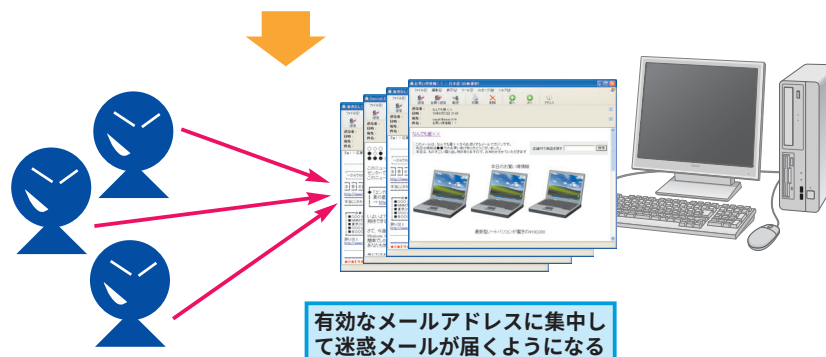
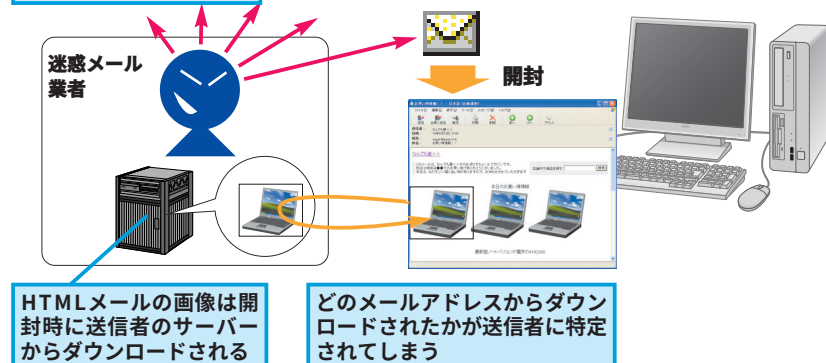
見知らぬ相手から届いたメールを開いたら、パソコンの動作がおかしくなったり、突然、迷惑メールがたくさん届くようになった。Windows XP Service Pack 2のOutlook Expressを使えば、このようなトラブルも防止できます。

Outlook Expressを使うときに気をつけること

迷惑メール業者の中には、画像付きのメールを使って、メールアドレスが有効であるかを確認してから、大量の迷惑メールを送るという巧妙な手口を使うものがあります。しかし、機能強化されたOutlook Expressでは、画像を自動的に表示しないようにできるため、迷惑メールが送られてくることを防止できます。

◆迷惑メールが増えるしくみ

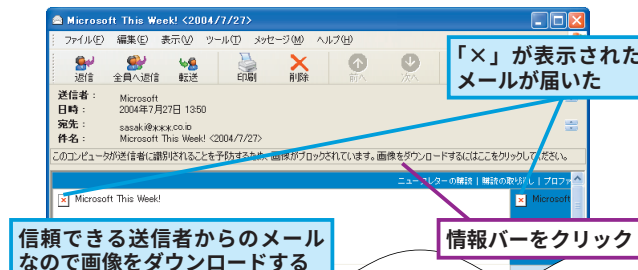
はじめは無作為にメールを送っている



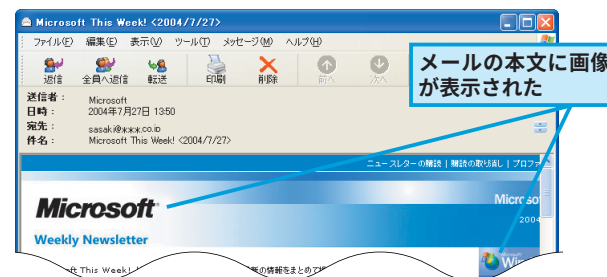
画像が表示されないメールが届いたときは

画像が表示されないメールが届いたときは、画像のダウンロードを許可することで、すべての情報を表示できます。

1 画像のダウンロードを許可する



2 メールの画像がダウンロードされた

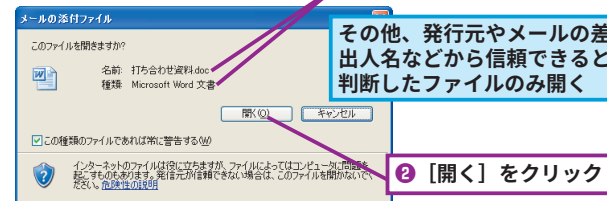


添付ファイルはよく確認してから開こう

Outlook Expressには、危険な添付ファイルから身を守るための機能も用意されています。添付ファイルを開こうとすると警告が表示されますので、発行元などをよく確認してから開きましょう。

メールに添付されたファイルを開くとこのようなメッセージが表示される

①ファイル名、ファイルの種類を確認



注意 EXEファイルなどダブルクリックするだけでプログラムが実行されるファイルは開けません。ファイルを開きたい場合はP.28のQ&Aを参照してください

信頼できる相手かどうかを確認しよう

画像をダウンロードするときは、そのメールが信頼できる送信者から送られたものであるか十分に確認しましょう。不用意に画像をダウンロードすると、迷惑メールが大量に送られてくることにもなりかねません。

疑わしい場合は開かない

メールには、まれにウイルスや不正なプログラムが添付されることがあります。ファイル名や発行元、種類などに加えて、メールの差出人や本文を確認し、覚えのない疑わしいファイルであったときは、そのファイルを開いたり、保存せずに、すみやかに削除しましょう。

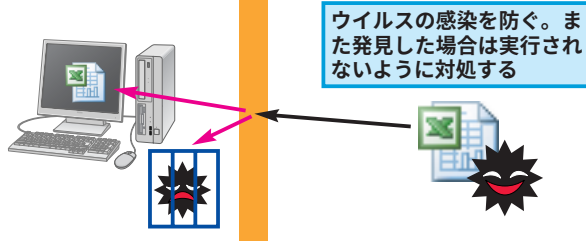
ウイルス対策をするには

ウイルス対策

パソコンを安全に使うために、今や欠かすことができないのが「ウイルス対策」です。ウイルスの感染や被害をさらに拡大させることを防ぐためにも、ウイルス対策が正しく設定されているかを確認しておきましょう。

コンピュータウイルスを防ごう

コンピュータウイルスは、メールやダウンロードしたファイル、ホームページなど、さまざまな経路から感染する可能性があります。ウイルスに感染すると、パソコンに不具合が発生してしまいますので、しっかりとした対策をしておくことが重要です。



ウイルス対策はユーザーの義務

ウイルス対策は、自分のパソコンを守るためだけでなく、被害の拡大を防ぐためにも必要不可欠です。周りの人に迷惑をかけないためにも、必ずウイルス対策をしておきましょう。

ウイルス対策ソフトをインストールしよう

ウイルスの感染を防いだり、感染したウイルスを駆除するには、ウイルス対策ソフトが必要です。Windows XP Service Pack 2にはウイルス対策ソフトは搭載されていないので、必ず、別途インストールしましょう。

●代表的なウイルス対策ソフト

◆Norton Internet Security

◆Norton AntiVirus

<http://www.symantec.com/region/jp/>

◆ウイルスバスター

<http://www.trendmicro.com/jp/>

◆マカフィー・ウイルススキャン

<http://www.mcafee.com/jp/>

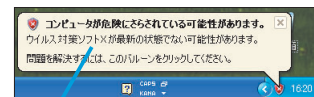
パソコンにインストールされていることもある

パソコンによっては、標準でウイルス対策ソフトがインストールされていることもあります。ただし、標準でインストールされているウイルス対策ソフトは使用期限が30～90日程度に限られていますので、使用期限が切れていないかをよく確認しておきましょう。

Service Pack 2のメッセージを確認しよう

ウイルスから確実にパソコンを守るためには、ウイルス対策ソフトの定義ファイルを最新の状態に保ったり、ウイルス検出機能を有効にしておく必要があります。通知領域に「●●（ウイルス対策ソフト名）が最新の状態でない可能性があります」や「●●が無効になっています」と表示されたときは、必ず定義ファイルを更新したり、ウイルス検出機能を有効にしておきましょう。

◆ウイルス対策ソフトの定義ファイルが古いときは



定義ファイルが更新されていないことを通知する

ウイルス対策ソフトを起動し、定義ファイルを更新

注意 定義ファイルの更新方法は、ウイルス対策ソフトにより異なります。ソフトの取扱説明書を参照してください

設定も確認しよう

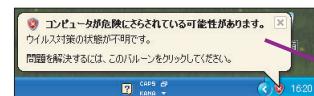
ウイルス対策ソフトはインストールされているだけでなく、ウイルスの検知や駆除などの機能が有効になっていないと意味がありません。ウイルス対策ソフトの設定を確認し、必ず有効になっていることを確認しましょう。

ウイルス対策の状況を確認するには

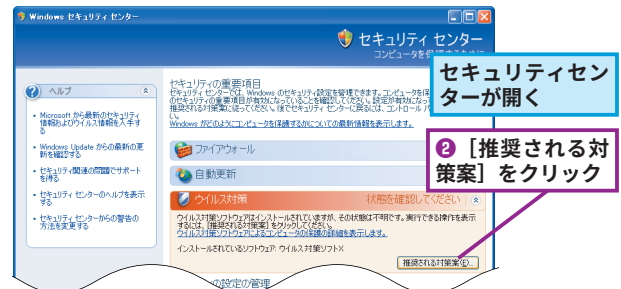
ウイルス対策の状況は、セキュリティセンターで確認できます。レッスン④を参考に、ウイルス対策が正しく行なわれているかをもう一度、確認しておきましょう。

通知領域のメッセージを表示しないようにするには

利用するソフトによっては、セキュリティセンターで状態を確認できないことがあります。監視しない設定にしておきましょう。



①ここをクリック



セキュリティセンターが開く

② [推奨される対策案] をクリック

[推奨する対策案] ダイアログボックスが開く

③ [自分でウイルス対策ソフトウェアをインストールし、管理します] にチェックを付ける

ウイルス対策に関するメッセージが表示されなくなった

注意 このあとは、必ず自分でウイルス対策を行ってください

どういった場合に監視できないの？

セキュリティセンターに対応していないウイルス対策ソフトや利用するウイルス対策ソフトのバージョンが古い場合、セキュリティセンターで正しく状態を確認できないことがあります。P.24で紹介したソフトを使用するか、またはP.10のレッスン④ 手順1「Windows XP Service Pack 2の互換性情報」のサイトで対応状況を確認してみましょう。

自動更新の設定をするには

自動更新

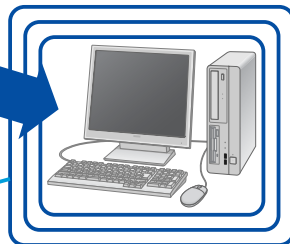
Windows XP Service Pack 2の自動更新を使うと、OSに優先度の高い更新を自動的に適用することができます。最新のウイルスや不正アクセスから守るためにも、常に最新の状態でもOSを使えるようにしておきましょう。

Windowsを自動的に最新の状態にしてくれる

最新のウイルスや不正アクセスに対抗するための更新プログラムを自動的にインストールできるため、常に、最新で、しかも安全性の高い状態にOSを保てます。

更新プログラム

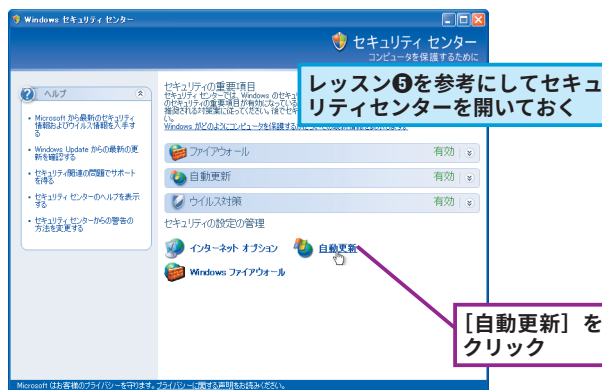
守りがより強固になるように、Windowsを更新していく



更新する日時を変更する

自動更新は、標準で午前3時にダウンロードした更新を適用する設定になっています。必要に応じて時間を変更しておきましょう。

1 自動更新の設定を開始する



シャットダウン時も自動的に適用される

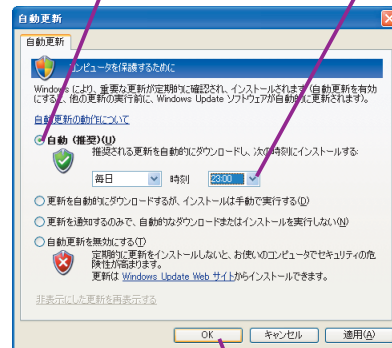
ダウンロードされた優先度の高い更新は、指定した時刻以外に、Windowsの終了時にも自動的に適用されます。このため、指定した時間にパソコンが起動しない場合でも、問題なく、更新を適用できます。なお、終了時に更新が適用される場合は、パソコンの電源が切れるまでの時間が多少、長くなることがあります。

2 自動更新の間隔と更新の時間を決める

【自動更新】が開いた

1 【自動】が選択されていることを確認

2 ここをクリックして更新する時間を選択



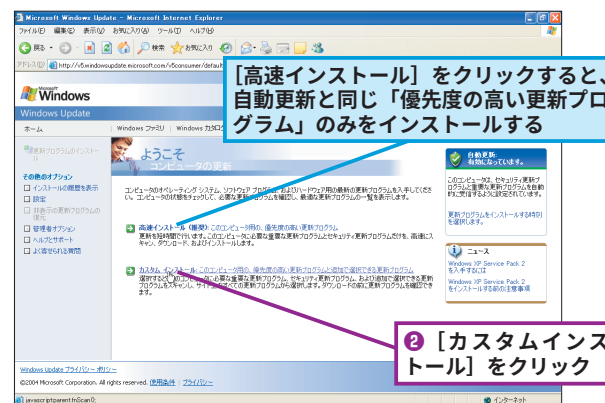
3 【OK】をクリック

自動更新のスケジュールが変更された

その他の更新も確認しよう

自動更新でインストールされるのは、緊急の対策が必要となる優先度の高い更新のみです。そのほかにも適用すべき更新はありますので、あわせてWindows Updateも実行しておきましょう。

1 【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【Windows Update】の順にクリック



このあとはメッセージに従って進む

設定する時間を工夫しよう

自動更新をインストールする時間は、パソコンが起動していて、しかも使っていない時間に設定するのが効率的です。標準では午前3時という使用頻度の少ない時間に設定されていますので、ほとんどの場合はそのままかまいません。もしも、変更したい場合は、お昼休みやお風呂に入る時間など、生活リズムに合わせて、時間を設定するといいでしょ。

定期的に行おう

Windows Updateには、新たなウイルスや不正アクセスの手口が発見され次第、それに対抗するための更新が新たに追加されます。緊急の対策が必要な更新が追加されていることもありますので、最低でも一週間に一度くらいは、定期的に行いましょう。

Windows XPで困ったときは

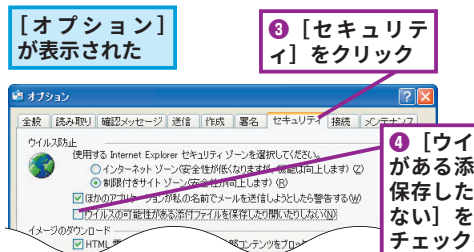
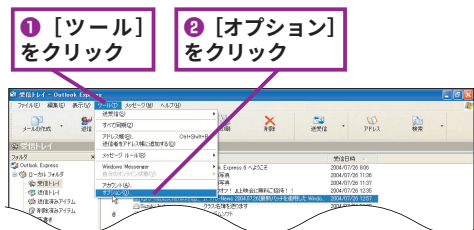
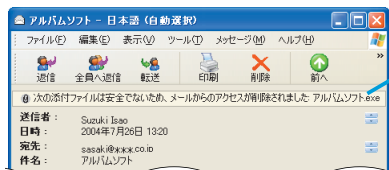
Q&A

Windows XP Service Pack 2をインストールすると、以前とパソコンの使い方が変わってしまう場合もあります。何か困ったことが発生した場合は、このレッスンを参照して問題を解決しましょう。

Q1 メールの添付ファイルが開けません

A1 Outlook Expressの「オプション」で開けるように設定してください

Outlook Expressでは、添付ファイルに含まれるウイルスや危険なプログラムの実行を防止するための機能が搭載されています。もしも、この機能によって、信頼できる添付ファイルまでもが開けなくなってしまう場合は、Outlook Expressの「オプション」で開けるように設定を変更しておきましょう。



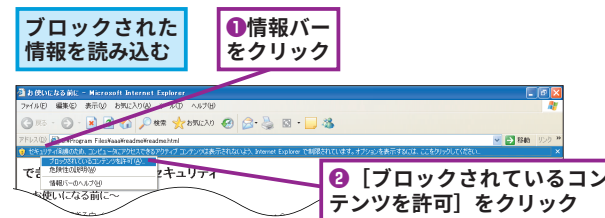
ウイルス対策ソフトを併用しよう

添付ファイルの実行を許可すると、メッセージが表示されなくなる代わりに、ウイルスなどの侵入に無防備になってしまいます。市販のウイルス対策ソフトをインストールし、添付ファイルに含まれるウイルスにもきちんと対抗できるようにしておきましょう。

Q2 パソコンに保存したファイルを実行しようとするとブロックされてしまいます

A2 情報バーでブロックを解除します

Internet Explorerでは、インターネット上のホームページだけでなく、パソコンやCD-ROMなどに保存されているHTMLファイルもブロックの対象となります。もしも、CD-ROMのインストールメニューなどが正常に表示されないときは、「情報バー」でブロックしない設定にしておきましょう。



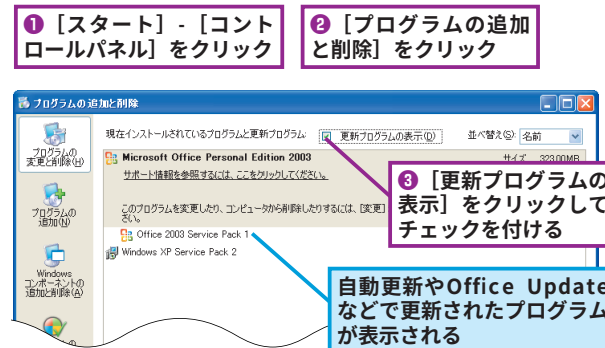
CD-ROMの実行は慎重に

CDやファイルのアクティブコンテンツの実行を許可すると、CD-ROMやファイルに悪意を持ったプログラムが含まれていたとしても、それに対抗することができません。実行を許可する場合は、利用するCD-ROMやファイルが信頼できるものかどうかを必ず確認してから開きましょう。

Q3 更新がきちんとインストールされていることを確認する方法はありますか？

A3 「プログラムの追加と削除」で確認できます

自動更新によって、どのような更新がパソコンにインストールされたかは、「プログラムの追加と削除」で確認することができます。ただし、インストールされた更新は、標準では表示されない設定になっています。「更新の表示」にチェックを付けると、プログラムの下に更新プログラムの項目が表示されますので、ここで確認しましょう。



Windows Updateでも確認できる

インストールされた更新は、Windows Updateからも確認できます。Windows Updateを実行し、「インストールの履歴を表示」をクリックすると、これまでにインストールした更新が表示されます。

更新を表示しないようにするには

「更新プログラムの表示」にチェックを付けると、次回以降、「プログラムの追加と削除」を表示したときも、インストールされた更新が一覧に表示されます。もしも、更新を非表示にしたいときは、確認後、「更新プログラムの表示」のチェックをはずしておきましょう。

Q 4 2台以上のパソコンを使っている場合、ファイルやプリンタを共有して使うことはできますか？

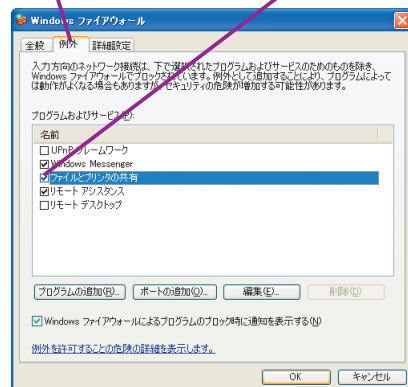
A 4 【例外】として登録すれば共有できます

Windowsファイアウォールを有効にしたまま2台以上のパソコンでファイルやプリンタを共有したい場合は、Windowsファイアウォールの【例外】で、【ファイルとプリンタの共有】にチェックを付けておきます。これで、ほかのパソコンのファイルを参照したり、共有プリンタを使って印刷をすることができるようになります。

① レッスン⑥を参考に【Windowsファイアウォール】を開く

② 【例外】をクリック

③ 【ファイルとプリンタの共有】をクリックしてチェックを付ける



自動的に有効になる場合もある

Windowsファイアウォールを有効にしたあと、パソコンのフォルダを共有する設定にすると、自動的に【例外】の【ファイルとプリンタの共有】が有効になります。この場合、あとから【例外】の設定を行なう必要はありません。

■アンケートご協力をお願い■

この小冊子についてのアンケートにご協力いただいた方の中から抽選で114名の方に商品券をプレゼント致します。

<プレゼント>

商品券（JCBギフトカード）	
10万円分	1名様
5万円分	3名様
1万円分	10名様
1000円分	100名様

<ご応募の方法>

この小冊子のアンケートハガキにご記入のうえ、50円切手をお貼りいただき、ポストへご投函ください。

<ご協力にあたってのお願い>

ご回答の内容によって当選確率が上がることはございません。皆様の率直なご意見をお聞かせください。

<プレゼント当選者の発表>

- ・当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- ・当選された方へのプレゼントの発送は、2005年2月上旬となります。

<アンケート実施期間>

- ・2004年9月20日～2005年1月30日

<企画・実施>

- ・調査企画： マイクロソフト株式会社
- ・調査実施： 日本統計調査株式会社

<このアンケートのお問い合わせ先>

- ・日本統計調査(株) パソコンの安全対策CD-ROM 小冊子アンケート係
- 電子メールアドレス：xpsp2enquete@jsr-jpn.com

ご注意： 製品の内容に関するお問い合わせにつきましては、お答え致しかねます。あらかじめご了承ください。

<個人情報について>

- ・ご回答いただいた内容は、データ作成時点で個人を特定できる情報は削除し、「男性」が〇〇%というように統計的に処理致します。
- ・ご記入いただいた個人情報は「プレゼントの送付」及び「Exploring Windowsの案内メール送信(ご希望の方のみ)」以外の目的には一切使用いたしません。また当該目的で使用後は、いかなる媒体にもこのデータを保持致しません。
- ・マイクロソフト(株)には、調査結果のみが報告され、その際に得られた個人情報は一切提供されません。



《日本統計調査(株)の個人情報保護遵守規定(抜粋)》

- *個人情報の収集は、収集(調査)目的を明確に定め、適法、かつ、公正な手段によって行います。
- *個人情報の利用は、調査対象者に同意を得た調査目的の範囲内で行います。
- *個人情報の提供は、あらかじめ調査対象者の同意を得ることを原則として行います。

<Exploring Windows 案内電子メールについて>

- ・Exploring Windowsの案内電子メールをご希望の方は、アンケートハガキに電子メールアドレスをご記入下さい。後日Exploring Windowsの紹介と案内の電子メールを配信致します。
- ・Exploring Windowsとは・・・Microsoft Windows の製品やダウンロード、イベント情報をはじめ、一歩進んだお得な最新情報を、電子メールで隔週火曜日に配信しています。無料でお届けいたします。また、緊急のセキュリティ情報も状況に応じて号外でいち早くお届け致します。
- ・この配信サービスをご利用頂くには、インターネット上で、.NET Passport にご自身でご登録(無料)いただく必要があります。
- ・なお、この電子メールは日本統計調査(株)より配信致します。

<パソコンの安全対策CD-ROM 小冊子についてのアンケート>

アンケートハガキの該当欄にご記入下さい

問1. あなたは、この小冊子（パソコンの安全対策CD-ROM –Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載–）をどこで、入手されましたか？（ひとつだけ）

1 家電量販店やパソコンショップ	3 家族・友人・知人からもらった
2 郵便局	4 その他
→その他欄にその内容をご記入下さい	

問2. あなたはこの小冊子の入手先を何から知りましたか？（いくつでも）

1 テレビ	6 電子メール
2 新聞	7 知人・友人・家族
3 パソコン雑誌	8 この小冊子がおいてある場所で
4 一般雑誌	はじめて知った
5 ホームページ	9 その他
→その他欄にその内容をご記入下さい	

問3. あなたは、この小冊子についているCD（Windows XP Service Pack 2 –セキュリティ強化機能搭載–が収録されたCD）をご自宅のパソコンにインストールしましたか？（ひとつだけ）

1 既にインストールしているパソコンがある
2 どのパソコンにも未だインストールしていないが、今後インストールするつもりがある
3 どのパソコンにも未だインストールしておらず、今後もインストールするつもりはない

問4. 【問3で3とお答えになった方に】その理由をお知らせください。（いくつでも）

1 小冊子の内容だけに興味があつたから
2 小冊子の内容がよくわからなかったから
3 小冊子の内容はわかったが、自分には必要性がないと思ったから
4 いまのパソコンの設定を変えたくないから
5 OSがWindows XP ではないから
6 既に、インターネット経由でインストールしているから
7 その他 →その他欄にその内容をご記入下さい

問5. この小冊子は、あなたにとってどの程度役に立ちましたか。（ひとつずつ）

(1) セキュリティに対する理解という点では・・・	1 非常に役に立った
	2 まあ役に立った
	3 あまり役に立たなかった
(2) Windows XP Service Pack 2のインストールという点では・・・	4 全く役に立たなかった
	5 読んでいない／インストールしていない

問6. 最もよくご利用のパソコンのインターネット接続回線をお答えください。そのパソコンで複数の回線をご利用の場合は、最もよくご利用の回線をひとつだけお答えください。（ひとつだけ）

1 ダイヤルアップ	5 FTTH（光ファイバー）
2 ISDN	6 携帯電話またはPHS（通信カード含む）
3 ADSL	7 その他・わからない
4 CATV（ケーブルテレビ）	8 インターネットにはつないでいない

問7. 以下の項目についてあなたはどの程度あてはまりますか。「1」を「全くあてはまらない」、「9」を「完全にあてはまる」とする9段階の評価でお答えください。（ひとつずつ）

	全くあてはまらない ← → 完全にあてはまる
(1) 私は友人たちからコンピュータ・ソフトの知識についての情報源と考えられている	1 2 3 4 5 6 7 8 9
(2) コンピュータにはわくわくする	1 2 3 4 5 6 7 8 9

問8. あなたは自分のパソコンソフトの知識をどう評価しますか。
「1」は「パソコンソフトがどのように動くか基礎的な知識があり、コンピュータを使って簡単な仕事ができる。ただし、複雑なことをするには助けが必要」
「5」は「パソコンソフトをとてよく理解しており、多くのコンピュータのエキスパートと同じくらい知識を持つ」とする5段階の評価でお答えください。（ひとつだけ）

基礎的な理解 ← → とてもよく理解
1 2 3 4 5

パソコンの安全対策 CD-ROM

Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載

2004年9月 発行

発 行	株式会社インプレス 〒102-0075 東京都千代田区三番町20
編集	できるシリーズ編集部
執筆	清水理史
シリーズロゴデザイン	山岡デザイン事務所
カバーデザイン	ON Design／中島信浩
イメージイラスト	廣島 潤
機器イラスト	松原ふみこ・福地祐子
協 力	マイクロソフト株式会社
印 刷	凸版印刷株式会社